

平成21年度 傾斜的研究費(全学分) 研究報告書

研究費区分

①都市形成に関わる研究 ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究

研究代表者 所属	健康福祉学部 放射線学科	研究代表者氏名	フクシ マサヒロ 福士 政広	職	教授
研究分担者所 属	人文社会系	研究分担者氏名	高桑史子	職	教授
	人文社会系		鄭 大均		教授
	人文社会系		綾部真雄		准教授
	人文社会系		何 彬		教授
	人文社会系		江原由美子		教授
	人文社会系		谷口 央		准教授
	理工系生命科学		西駕秀俊		教授
	理工系生命科学		黒川 信		准教授
	理工系生命科学		福田公子		准教授
	理工系生命科学		村上哲明		教授
	理工学系数理科学		小林正典		准教授
	理工学系分子物質化学		杉浦健一		教授
	都市環境学部地理科学		鈴木毅彦		准教授
	健康福祉学部		斉藤恵美子		教授
	健康福祉学部		呉 珠響		助教
	健康福祉学部		柳沢 健		教授
	健康福祉学部		古川順光		准教授
	健康福祉学部		来間弘展		助教
	健康福祉学部		小林法一		准教授
	健康福祉学部		石橋 裕		助教
	健康福祉学部		小倉 泉		教授
	健康福祉学部		関根紀夫		准教授
	健康福祉学部		眞正浄光		助教
	オープンユニバーシティ		菅又昌実		教授
	オープンユニバーシティ		ロング ダニエル		教授
			他		

研究課題名

社会貢献力・国際貢献力を持つ骨太な学生の育成を目指した
多面的な学外教育プログラムの開発
ーその定常プログラム化を目指してー

研究実績の概要(600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

2年の研究期間の初年度として、4/28に第一回分担者会議を開催。年度方針等を決め、実行計画を定めた。他に計4回分担者会議を開き、適宜実施内容を検討評価した。実施したプログラム、開催場所、受講者数は以下のとおり。なお、開催場所は特記なき場合は伊豆大島。///
4月 都市教養プログラム「自然と社会と文化」説明会(参加者150名)：5月 社会人野外講座@八丈島(受講生13名)、社会人野外講座(受講生12名)：6月 社会人野外講座@奥多摩(受講生13名)、高大連携活動：海洋国際高校での進路講演会)：8月 学部専門：生理発生生物学実習(参加者16名)+高大連携(参加者3名)実習@大島海洋国際高校、学部専門 植物系統学野外実習(参加者16名)、学部専門 数理科学セミナー@大島海洋国際高校(学生8名)、都市教養プログラム「自然と社会と文化」(学生22名)、健康福祉プログラム調査(参加者13名)：9月 大島海洋国際高校インターンシップ(学生5名)、公開講演会「宇喜田家中に見る豊臣政権の実態」「もの忘れと認知症」(八丈島民大学共催)(参加者40名)、健康福祉プログラム調査(参加者4名)、秋葉原にて研究シーズ発表会、：10月 島嶼共生研究環との連携 首都大と伊豆大島の連携活動フォーラム、大学院セミナー・分子物質化学セミナー(学生31名)、社会人野外講座@青梅・奥多摩(受講生6名)、学部専門 地理環境科学実習巡検(学生5名)、教育研究交流会@南大沢：11月 大学祭にて活動紹介「東京の海・山・島々に学ぶ」、留学生 野外体験授業(留学生17名+日本人学生5名)：12月 青梅・御岳山荘討論会(学生35名)、社会人野外講座@八丈島「八丈学入門」(受講生18名)+「公開体験講座：海藻おしぼで海を学ぶ」(参加者町民23名+18名)：2月 小笠原講演会「都民を健康危機から守れ-地震・食品・感染症対策の最前線-」「高齢者の転倒予防」(参加者昼の部 父島10名、母島4名 夜の部 父島6名、母島2名)、社会人野外講座@伊豆大島(参加者前半16名、後半8名)：3月 社会学セミナー@八王子セミナーハウス(学生22名)、都市教養プログラム「自然と社会と文化」(学生24名)、都市教養プログラム 八丈島予備調査(学生10名)、言語学演習専門セミナー@八丈島(学生5名)
これらの詳細はホームページ<http://www.tmu-edu-pjt.jp/>で公開している。

平成21年度 傾斜的研究費（全学分）研究報告書

学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）					
①Takuya Mitsumoto, Takashi Satoh, Azusa Minagawa, Nao Fujiki, Kikuo Kotaka, Miyako Moroka, Kazuo Kubota, Msahiro Fukushima : The Clinical Analysis of Double PET Studies Using 11C and 18F-FDG SNM 2009 56th Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Toronto, Canada, June 13-17, 2009. ②The analysis of mismatched region at dual I-123 BMIPP and TL-201SPECT, SNM 2009 56th Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Toronto, Canada, June 13-17, 2009. ③The estimation of noise components in FDG PET images to optimize emission scan time, SNM 2009 56th Annual Meeting of Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Toronto, Canada, June 13-17, 2009. ④Scintigraphic Detection of I-125 Seeds After Permanent Brachytherapy for Prostate Cancer, ASTRO 2009 50th Annual Meeting of American Society for Radiation Oncology Annual Meeting, Boston, USA, September 21-25, 2009. ⑤The clinical analysis of double PET studies using 11C and 18F-FDG, 第49回日本核医学学会学術総会国際学術フォーラム, 2009年10月, 旭川市 ⑥The segmented acquisition method for stationary objects in FDG PET tests, Kashiwa Symposium on Cancer Biology 2009, 2009.11 (Kashiwa) ⑦The segmented acquisition method for stationary objects in FDG PET tests, European congress of radiology 2010, doi: 10.1594/ecr2010/c-2148, 2009.3 (Vienna) ⑧The purpose of this investigation was to monitor implanted seeds and to determine factors contributing to seed migration after permanent prostate brachytherapy., European congress of radiology 2010, doi: 10.1594/ecr2010/c-2148, 2009.3 (Vienna)					
論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）					
1. 富士政広 編集：診療放射線技師スリム・ベーシック 医用工学，メディカルビュー社、東京，2009年4月 2. 富士政広 編集：診療放射線技師スリム・ベーシック 放射線計測学，メディカルビュー社、東京，2009年8月 3. 富士政広 編集：診療放射線技師スリム・ベーシック 放射線物理学，メディカルビュー社、東京，2009年10月 4. 五十嵐均，富士政広，森浩一，西尾誠二 編集：診療画像技術学I 診療画像機器，医療科学社，東京，2009年11月 5. 富士政広 編著：第1種診療放射線取扱主任者マスターノート改編，メディカルビュー社、東京，2009年8月					
科学研究費補助金への応募状況、採択状況					
文部科学省科学研究費 基盤C 応募 研究題目：ポジトロンCT組合せ形SPECT/CT装置の性能評価法の確立 採択有無：不採択					
国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況					
平成21年度「教育研究高度化のための支援体制整備事業」 研究課題：アジアにおける医学物理士教育の拠点の構築と人材育成 共同研究 研究目的：放射線防護素材に関する研究 期 間：平成20年4月1日から平成21年3月31日 共同企業：医建エンジニアリング株式会社					
その他社会貢献 [公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]					
独立行政法人 国際協力機構 技術専門委員（放射線） 公立大学協議会看護・保健医療部会副会長 日本医学物理士会副会長 診療放射線学教育学会副会長・理事 日本保健物理学会理事 放射線防護連絡協議会理事					
研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況					
工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類・番号	出願年月日	取得年月日
なし					
研究分担額					
研究代表者・分担者名	所属			金額（円）	